

「実践の見える化と支援の根拠に資する 生活支援記録法(F-SOAIP)」研修会

講師：埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授 鳥末 憲子 氏

令和2年2月4日（火）

午前の部＞ 9:30～12:30

午後の部＞ 12:30～16:30

@大分県社会福祉介護研修センター



実践の見える化と支援の根拠に資する
「生活支援記録法(F-SOAIP)」研修会
～支援経過記録を再考してみませんか？～

好評につき
第2弾
開催決定！

介護支援専門員は、法的原則を押さえながら、利用者の支援に係ることに
ついて記録を行い、モニタリング、再アセスメントにて実践評価を行います。
一方、「何をどのように書けば良いのかわからない」、「記録の書き方を教わったことがない」、
「記録は時間がかかって大変」といった実務的な悩みを多く抱えている方もいませんか？
本研修会では、ケアマネジメントの質の向上を目的として、経過記録の意義や生活支援記録法
のポイントについて講義と演習を通じて学びます。

※前回大好評につき、第2弾の開催決定となりました！
※在宅系・施設系を開き合わせお申し込みください！

開催日時 令和2年2月4日(火)
午前の部 9:30～12:30 受付 9:00～
午後の部 13:30～16:30 受付 13:00～
※午前・午後とも同じ内容です。
どちらかを選んでください。

会場 大分県社会福祉介護研修センター
3階302研修室

定員 午前・午後ともに
80名(予定)
申込締切 令和2年1月18日(土)
FAX申込み
※受付後、申込用紙を郵送
受講料 会場 ▶ 3,000円
非会場 ▶ 3,000円
※「研修受講証明書」交付研修

講師 鳥末 憲子 氏

【講師紹介】
・埼玉県立大学 准教授
・日本社会福祉大学大学院社会福祉学専攻
臨床支援開発センター
・大学院助、医療福祉系専門学校の教授と講師

生活支援記録法とは・・・ <http://shikatsu.com/>

生活支援記録法は、多職種協働によるミロノフ・ワグネルの実践過程において、生活支援の観点から、
当事者ニーズや観望、支援の根拠、働きかけと当事者の反応等を、F-SOAIPの項目で可視化し、PDCAサイクルに多角的効果を生む、フレキシブルな経過記録の方法です。『生活支援記録法』は、
生活支援記録法では、支援経過を記録する際、ユーザ（関係の当事者）が、支援の根拠・利用者（S）、
客観的情報（観察や支援で得た情報（O））、気づき・判断（見立て（A））、働きかけ（I）、評価（P）の6項目に
分けて記述する方法です。

〒870-1133 大分県大分市国路1367-1
大分県社会福祉介護研修センター
大分県介護支援専門員協会
OCMA Oita Care Manager Association
〒870-1133 大分県大分市国路1367-1
7/A1101-1001 2115号
TEL:097-504-7500 FAX:097-504-7501
E-Mail: ocma@fuga.ocma.or.jp
～「福祉系個人、日本介護支援専門員協会、大分県実務～」
<http://oshika-care.com/>

医療・福祉の質が高まる
生活支援記録法
F-SOAIP
エフ・ソアイブ
多職種の実践を可視化する新しい経過記録

鳥末 憲子 小崎 研吉

わが国で最も進んだ記録法の
全体像を把握する最適の書籍

田中 滋 氏 推薦

手書き記録・ICTの
両方に活用できる

支援の根拠を明確化。
専門性の実態につながる

記録の「標準化」に基づく
情報連携が地域課題を解決

中央法規 定価 本体 2,400円(税別)



- ～受講者の声～
- *「生活支援記録法は、見やすく、わかりやすいので、とても参考になりました」
 - *「自分の経過記録には、Aが少なかったことに気づきました」
 - *「ワーク中心の内容だったので、わかりやすかった。持ち帰り、実践してみます」
 - *「2回目の受講でした。前回受講後、実際に活用していますが、しっかり出来ず改めて受講しました。事業所にしっかり伝達します」
 - *「新人、ベテラン関係なく、記録方法を確認していくことが必要だと思いました。支援記録の明確化、時間短縮に繋がるとのではないかと思います」
 - *「業務の質の向上に繋がると思いました」
 - *「利用者のS・O、自分のA・Iを意識しなければ！と学びました」
 - *「在宅では導入可能かとも思いますが、施設では課題もあり・・・」